

## 長崎労災病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究題名	臨床検体から分離された侵襲性感染症原因菌の分子疫学解析と薬剤耐性化の経年的推移
当院の研究責任者	尾方 一仁(長崎労災病院 中央検査部)
他の研究機関および各施設の研究責任者	東京医科大学微生物学分野 主任教授 中村 茂樹 教授 大楠 清文 准教授 宮崎 治子 助手 高田 美佐子 客員研究員 生方 公子
研究目的	<p>近年、微生物検査室を有する中規模以上の医療機関あるいは検査センターにおいては、機器による質量分析法による菌種・同定技術の普及、さらには簡便な菌種同定法も開発されつつあります。しかし、それらの方法はいずれも感度ならびに特異度に限界がみられます。</p> <p>そのため、本研究で解析を東京医科大学へ依頼することは、次のようなさらなる詳細なデータが期待できます。①16SrRNA 解析による菌種同定②病原細菌において明らかな病原因子を DNA レベルで解析③薬剤耐性遺伝子の有無を迅速に解析。この得られたデータは治療上の参考データとしても大きな意義があります。</p> <p>一方、臨床的に重要な細菌について解析し、データを蓄積することで世界の同様の成績と比較でき、解析されたデータが将来論文として公表できれば、我が国と疫学研究としても意義が大きいです。</p>
調査データ 該当期間	2023年12月～2026年3月までに当院を受診された方
研究期間	2026年3月31日まで
研究方法	<p>●対象となる患者さま 長崎労災病院にて細菌検査を実施し、①肺炎球菌、②溶血性レンサ球菌を無菌材料(血液、胸水、髄液など)から検出した患者さま</p> <p>●利用する情報 検査材料採取日、年齢、性別、受診科、疾患名、菌株分離検査材料</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供	東京医科大学 検出菌株を提供いたします。

個人情報の取扱	利用する情報から氏名や住所などの患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。そのため、患者さまへの明らかな不利益を生じることはありません。
研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0956-49-2191 内線：2245 担当者：中央検査部 尾方 一仁(おがた かずと)